



営農NEWS



水田の初中期一発除草剤エーワン、ゲットスター、ボデーガード、コメット、カチボシの有効性と使用上の注意

新しい水田の初中期一発除草剤として、エーワン、ゲットスター、ボデーガード、コメット、カチボシ剤などがあります。これらの除草剤は、一年生雑草を始めとしてウリカワなど多年生雑草にも有効で、各種の雑草に長い残効（イネ科雑草を除く）があり、さらに、SU剤抵抗性雑草のホタルイなど難防除の雑草にも卓効した有効性が認められています。

1 エーワン、ゲットスター、ボデーガード、コメット、カチボシの特徴

- 1) 有効成分が2成分（コメット、カチボシは3成分）で、農薬成分数を減らしたい生産者に導入が可能です。
- 2) 雑草の発生期間が長い地域では、初期剤との体系防除で長い抑草効果を発揮します。
- 3) クログワイなど多年生雑草の多い地域では、クログワイに効果の高いバサグラン剤など中・後期剤との体系防除でも、有効成分数は少なく済みます。

2 使用上の注意点

- 1) 除草効果を安定させるためには、移植7～10日後（雑草発生後）の処理が有効です。5月以降の田植えでは、移植7日後～ノビエ2.5葉期頃までに処理してください。やや遅めの散布を推奨していますが、除草効果が発揮できる限界の葉齢を超えないよう十分注意してください。
- 2) 砂壤土、漏水田、強還元田などで、浅植え、低温・活着不良、軟弱苗などが重なると、生育の抑制や白化症状が発生する場合があるので注意が必要です。なお、白化症状に関しては、薬剤が大量に稲体に付着したり、局所的に薬液の水中濃度が高くなる場合に発生することがあり、主食用の栽培品種では伸展してくる新葉1～2枚に現われる場合がありますが、その後は正常葉が伸展し、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。白化症状の軽減策としては、処理時にのみ湛水深を茎葉基部がかかる程度に深めにしておきます。
なお、飼料用米やWCS用稲の「モミロマン」「ミズホチカラ」「タカナリ」など一部の品種で、症状がひどく、枯死するほどの影響が生じる場合がありますので、これら品種には使用を避けてください。

表1 移植水稻の除草剤 エーワン、ゲットスター、ボデーガード、コメット、ガッチリの主な登録内容（平成28年4月14日現在）

薬 剤 名	使用量／10 a （散布液量／ 10 a）	使用方法	使用時期—使用回数	水田 一年生 雑草	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ウ リ カ ワ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ
エーワン 1 キロ粒剤	1 kg	湛水散布	移植直後（エーワンは移植後 5 日）～ノビエ 2.5 葉期（エーワン※とボデーガードは 3 葉期）まで（ただし移植後 30 日まで・エーワンは収穫 45 日前まで）－1 回	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ボデーガード 1 キロ粒剤				●	●	●	●	●	●	●	●	●
コメット 1 キロ粒剤				●	●	●	●	●	●	●	●	●
カチボシ 1 キロ粒剤 5l				●	●	●	●	●	●	●	●	●
エーワンフロアブル	500ml	原液湛水散布または水口施用	移植後 5 日（カチボシは移植直後）～ノビエ 2.5 葉期（エーワンとボデーガードは 3 葉期）まで（ただし移植後 30 日まで）－1 回	●	●	●	●	●	●	●	●	
ボデーガードフロアブル		●		●	●	●	●	●	●	●	●	
コメットフロアブル		原液湛水散布		●	●	●	●	●	●	●	●	
カチボシ L フロアブル				●	●	●	●	●	●	●	●	
ゲットスター顆粒	湛水散布（水 500ml に 80 g を希釈）、 顆粒水口施用（80 g）		移植後 5 日（コメットは移植直後）～ノビエ 2.5 葉期まで（ただし移植後 30 日まで）－1 回	●	●	●	●	●	●	●	●	
コメット顆粒				●	●	●	●	●	●	●	●	●
エーワンジャンボ	小包装（パッ ク）10 個（300 g）	水田に小包装（パ ック）のまま投げ 入れる	移植後 5 日（カチボシは移植直後）～ノビエ 2.5 葉期まで（エーワン※は 3 葉期）（ただし移植後 30 日まで）－1 回	●	●	●	●	●	●	●	●	
コメットジャンボ				●	●	●	●	●	●	●	●	
カチボシ L ジャンボ				●	●	●	●	●	●	●	●	●
ボデーガードジャンボ	10 個（400 g）			●	●	●	●	●	●	●	●	
ボデーガード豆つぶ 250	250 g	湛水散布または湛 水周縁散布	移植後 5 日～ノビエ 2.5 葉期まで（ただし移植 後 30 日まで）－1 回	●	●	●	●	●			●	●

注1) ※印のエーワン1キロ粒剤及びジャンボの使用時期は、水田が砂壤土の場合には移植後5日～ノビエ2.5葉期まで、壤土～埴土では移植後5日～ノビエ3葉期までの登録です。また、上記には、各薬剤による田植同時散布機での施用内容を、省略しています。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040